

令和6年 1月1日発行
発行責任者／土田 義也
編集責任者／中井 繁
印 刷／株さんけい



会長新年あいさつ

土田 義也



青葉町にお住まいの皆様、新年明けましておめでとうございます。

2024年の新春を迎え、一年の計を祈願されたことと存じます。皆様とともに一年の安寧をお祈り申し上げます。

少子高齢化がこれほど長く続くと、これといった最善の解決策が見つからないだけでなく、様々な分野で問題が顕在化しています。そのひとつに町内会の役員の担い手不足が挙げられます。

札幌市では「札幌市市民まちづくり活動促進条例」を平成20年に施行し、昨年は「札幌市未来へつなぐ町内会さえあい条例」が施行されました。町内会さえあい条例に関する令和5年度の施策の実施状況では、町内活動の重要性が述べられ、町内会の維持及び活性化に関する支援が並べられています。

とはいっても、市民の意識は時代とともに変わってきています。従来の町内会、自治会が担ってきた様々な行事、役割を見直し、住民が望む方向へシフトするべき時期であることは事実です。しかし、住民一人ひとりの要望を100%叶えることは、とうてい不可能です。地域が担っているすべての業務を行政に一括して返還すると、どれだけの財源と人手が必要か、この機会に考えてみることが大切でしょう。

国際状況の悪化、それに伴う経済情勢の変化、労働人口の減少、少子化や老齢化社会を鑑みる時、軽はずみな判断はできないのではなかろうか。

生産人口が減少する中で、55歳定年が60、65歳と延長され、定年後も勤めをする人たちが増え、社会奉仕できる人達が少なくなったことも、担い手不足の一つの要因です。これといった最善の解決策は見つからず、どの組織も世代交代が出来ないまま、崩壊寸前の状態です。本当に必要性を感じないのであれば、止めれば良いと考えることもできます。少しの自己犠牲をしても、社会のために奉仕の精神を持つことが社会生活を営むひとりの人間として必要ではないでしょうか。

最後に、マザー・テレサ箴言集より。

「暗いと不平を言うよりも自ら進んで明かりを灯しなさい」という箴言に続き、

テレサは、「誰かがやるだろうということは、だれもやらないということを知りなさい」と。



役員からの一言



副会長
(事業部長 兼務)
辻本 英樹
(四つ葉会 会長)

9月に実施しました青葉オータムフェスタでは、大勢の皆様にご来場いただきました。早朝からお手伝いいただいたスタッフの皆様、ご来場いただいた地域の皆様には、厚く御礼申し上げます。

自治連では、コロナ変異株エリスの感染状況を常に情報収集し、安全に実施できるよう最善を尽しました。

今後も、事業部含め一丸となって、皆様と笑顔でお会い出来ますよう、努力してまいります。



副会長
城 哲也
(わかば会 会長)

新型コロナの世界的流行（パンデミック）が下火になりつつありますが、それに伴い、世界の経済活動も次第に復旧の気配がみえてきました。

しかし、中近東で大きな戦争が2か所で勃発して、経済活動はもとより、今度は世界的に恐ろしい気配を感じる昨今になりましたが、我々は地域の皆さんと一緒にになって地域の安全そして発展に向けて前進していくたいと考えております。



会計部 部長
池田 康則
(四つ葉会)

新型コロナウィルスの感染症法上の位置付けが、「2類」から「5類」に引き下げられ、各種行事も制限なく、計画どおりに実行されております。

各種行事がスムーズに実施される様、側面からバックアップし、適正な会計処理に努めて参ります。



総務部 部長
中井 繁
(紅葉会 会長)

総務部として本年度は充実した行事を実施できたと思います。

いろいろな方々とコミュニケーションを取れたことは、楽しくて良い収穫でした。できれば、旅行等も復活できればいいな。と個人的には思っています。



保健福祉部 部長
物井 榮美子
(友和会 会長)

今年の「いきいき健康・介護予防フェア」は、従前と異なり希望者の自主参加にしました。今迄とは違う体力測定、少人数でもできるストレッチ体操、ノルディックポールを使用したウォーキング指導はマンツーマンで参加者の能力に合わせた指導でした。

まちセンにも何組かポールを用意していますので、青葉会館で会合の折りに何分か運動に振り向けては如何でしょうか！



環境部 部長
長谷川 美代子
(青葉会 会長)

環境部の仕事は多岐にわたります。

どれも1年をかけ成し得る大仕事を進めています。

一つは花、種を蒔き苗えを育て、咲かし、秋には種をとり、青葉中央公園にて落ち葉を集め堆肥作り…とハードな仕事を繰返し実施。

また、虫も一年間育て、輝きを終えて、次期世代の交替までを繰返す。

会員のみなさまの長い道の努力と協力のおかげです。

一年間ありがとうございました。



防犯防災部 部長
吉田 敏博
(青葉13町内会 会長)

令和5年の2月に会社を卒業し、ひょんなことから町内会長になりましたが、町内会のことはまったくタッチしたことなく、町連なる言葉も初めて聞く私でした。

防犯・防災の知識も経験もないため、7月の「避難所運営研修」や9月の「札幌市総合防災訓練」、「防火研修会」に参加してきました。

個々人や町内会の火災・自然災害への備えと心構えは大切ですが、いざ起った時の近隣の助け合いも大切になりますね。



交通部 部長
横藤 雅人
(白樺会 会長)

今年度から交通部となりました。過日参加した研修会で、札幌市内10区中、厚別区は交通事故の発生件数・死者数・負傷者数がいずれも低い傾向にあることを知り、とてもうれしく思いました。

より安全で安心な町づくりに微力を尽くしたいと思います。



女性部 部長
高平 弥生
(紅葉会)

今年度の行事が無事に終えることができたのも「縁の下の力持ち」である各町内会女性部の皆さん、会員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

今後も笑顔で沢山の方に参画していただけるようにがんばりたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。



まちづくり会議担当部
部長
千葉 一晴
(紅葉会)

令和2年4月に新札幌わかば小学校が開校してから4年がたとうとしています。

昨年から青葉小学校校舎の取り壊しが始まりましたが、跡地の活用や同小学校と青葉中学校を9年制の義務教育学校とするための検討など、課題があります。

高齢化が一層進みますが、安心して住める街づくりに努めてまいります。



「ずっと。」
人と社会を支える

溪仁会グループ

社会福祉法人溪仁会 青葉ハーティケアセンター

□あおばデイサービスセンター ☎ 893-5000 □小規模多機能型居宅介護あおば ☎ 893-5555
□訪問看護ステーションあおば ☎ 893-5500 □居宅介護支援事業所あおば ☎ 893-8761

〒004-0021 札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号(青葉会館向い)



各会長から地域の皆さんへ

わかば町内会

わかば町内会は、昭和42年9月に設立し、今年で57年目を迎えます。

1丁目・2丁目・4丁目を併せて440世帯です。

他の町内会と同様に世帯数も年々減少傾向にあります。2世帯の方が増えて一時的に増加傾向にみえましたが、最近の状況では減少しているのが現状です。

今後の会員相互の交流として、「日帰りバス旅行」等の復活を考えていきたいと考えております。

会長 城 哲也

青葉町B団地自治会 友和会

青葉中央公園の活動も、落ち葉を堆肥場に積み込み、今年の活動を終えました。

4年前のコロナ禍に於いても、環境部役員の一聲でプランター、ベランダ側や街路樹の桜花壇に花を植え手入れを続けてきました。

52年の歳月で住民の年齢も進み、人々の心の有りようも変化していく中で、住民活動がどのように姿を変えても、弱者と言われる高齢者、幼児も共に手を携え、大人が仲介しながら、と思いを馳せます。

この一年も約200名以上の皆様の協力を得る事ができました。住民の皆さんに心より感謝致します。

暑い夏に代わり、冬は足元が危険になります。転倒に気をつけましょう！

会長 物井 榮美子

青葉町紅葉会

現在会員数460世帯。近年亡くなる方も増えていますが、若い方々も増えています。

町内会の在り方も、若い人達に合った運営を模索しておりますが、相変わらずスタッフが不足しております。

若い方で町内会運営に興味のある方、募集しております。

会長 中井 繁

白樺会

お住まいの皆さんが「この町に住んで本当に良かった！」と実感してくださるよう、役員や班長が中心となって企画を練っています。具体的には、春のマス花壇整備、初夏から始まり複数回開催の「ふれあいいきいきサロン」、秋の小樽方面への「バス旅行」、冬の「トウインクルな町づくり」(各家庭のイルミネーション)などです。また、手芸、麻雀、パークゴルフのサークル活動や安全・安心な町づくりのための防災サポーターの活動も継続しています。これらは、すべて日々更新される「白樺会ホームページ」に公開されていますので、ぜひご覧ください。



会長 横藤 雅人



青葉会自治会

7月9日に厚別消防署の力を借りて、自主防火訓練を実施しました。

会長 長谷川 美代子



四つ葉自治会

令和5年度は、昨年に続き自治会外周の設備や構造物について、不備や破損を担当管理会社と協力し、改善・改修を行う年といたしました。3棟の玄関の水漏れ、4・5棟の浸透樹の破損修繕、6棟屋上の排水管詰まりによる水溜りの排水、1棟のベランダに入り込んだ枝木の伐採、見通しの悪くなつた雑木・雑草の処理、交通安全や火の用心の啓発旗の交換や増設等の実施をいたしました。

令和6年度は、物置に残された退去者の不用品や破損した除雪道具の処分等、建物内外の環境・衛生に係わることに重点を置き活動を進めてまいります。

本年も、皆様にとって良い年となりますよう、心より祈念申し上げます。

会長 辻本 英樹



青葉13町内会

昨年4月から町内会長になりましたが、町内のことがまったくわからず、さて何をするか。とりあえず皆の困っていることの解消に努めました。ゴミステーションに関係することでは、苦情の対応、幕から折り畳み式のゴミBOX化、置き場所のアスファルト舗装の修復など、札幌市にも協力いただきました。

JRさんの敷地内で電線に引っかかる枝や屋根の上まで伸びた枝の処理を、JRさんと北電さんの協力で剪定してもらい近隣の方はホッとしたと思います。

敬老祝い品（70歳以上全員が対象）の届け出は、各世帯で封筒に入れて提出してもら、健康福祉部長に開封、集計してもらいました。個人情報の関係で前年提出されなかつた方で、今年提出された方が結構おられました。

今年はどんな困りごとがやってくるか…。まずはこの冬に大雪がやってこないことを願っています。

会長 吉田 敏博



令和5年度の取り組み行事のふりかえり (上期) 4月～11月

青葉町自治連合会は、未来を担う子どもたちをはじめ、若者、現役世代、高齢者の全ての世代の皆様が、青葉のまちづくりに楽しく気軽に参加していただきたいと考えています。

今後も様々な行事や事業に取り組み、皆様が“いきいきと”健康に暮らせるまち、若い世代も暮らしやすい、地域への愛着を深められるまちづくりを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

4月

種植え講座



～種からお花を育てましょう～
種植え講座を久しぶりに開催。

5月

春の交通安全街頭啓発



思いやりと譲り合いの心で、交通安全に努めましょう。

5月

温室設置



花苗を育てるために温室を設置。児童会館の子どもたちにもお手伝いをいただきました。

6月

青葉中央公園 花植え



花いっぱいカラフルな花壇となりました

6月

青葉中央公園
クリーンアップ大作戦

天候不良でゴミ拾いは中止。子どもたちと、ゴミ入れ体験やクイズで環境問題を考えました。

7月

青葉町文化祭



皆さんの力作が、区民センターに勢ぞろいしました。

7月

夏の交通安全街頭啓発



いつも見守ってください、ありがとうございます

7月

ホタル観賞会



猛暑の中、たくさん羽化したホタルが、美しく輝きました

8月

ちいさなたなばた会



ちいさなお子さんや小学生の皆さんで大行列になりました

8月

**青葉中央公園ジャック
「自然お宝さがし」**



宝探しをしながら、樹木の名前を学びました

8月

青葉の森音楽会



青葉中学校合唱部と北広島弦楽合奏団の素敵なハーモニー♪

9月

あおばオータムフェスタ 2023



新鮮な
野菜・果物が集まつた
青空マルシェや
パン食い競争など
ミニイベントが
大好評でした。



9月

秋の交通安全街頭啓発



信号や交通ルールを守って、気をつけて、
といってらっしゃい♪

10月

落ち葉堆肥を花壇へ



2年越しでできた「落ち葉堆肥」を、青葉中央公園の約20か所の花壇へ入れました

10月

**いきいき健康・
介護予防フェア**



ノルディックウォーキング体験や健康チェック等盛りだくさんで大好評でした

11月

**秋の迷惑駐車防止
パトロール**



路上駐車をしないよう気をつけましょう

11月

冬の交通安全街頭啓発



寒い朝、ご協力くださった皆さんおつかれさまでした

11月

落ち葉堆肥づくり



堆肥にするため、落ち葉を集めて入れました。
堆肥になるまで2年。再来年が楽しみですね。



青葉 キラッとこの人

～人物紹介⑯～

今回は、青葉町13丁目にお住いで、さまざまな活動を楽しんでいるほか、町内会活動にも熱心に取組んでおられる“佐藤祐子さん”をご紹介します。

佐藤さんは多彩な趣味をお持ちで、その筆頭はボランティア活動。俳句、フォークダンス、蕎麦打ちなども嗜まれているそうです。ボランティアの蕎麦打ちは終わったのですが、毎月13日に開催される「坂掃除」にはできるだけ参加して楽しい汗をかいているとのこと。

このほか、AOBA13クラブで開催されている麻雀、ハイキング、施設見学、コンサートなど、いろいろなイベントにも参加し、充実した日々に感謝しているそうです。佐藤さんはAOBA13クラブに参加できたことが「最大の宝」と語ってくれました。

また、昨年から青葉13町内会の副会長もされており、「役員就任が縁となり新たな出会いもあった。」と話し、青葉中学校の近くで交通安全の見守りを行い、子どもたちに会えたことが「何よりの宝」で、元気をたくさんもらっているそうです。

街並み保存会や学資支援大バザーにも積極的に参加したいと意欲を燃やしながら、「益々忙しくなりますが、元気で今を、また未来へ、自分や子供たちの助けになりたいと思います。」と、元気に話されていました。



佐藤 祐子さん
(青葉13町内会副会長)



介護家族の力になります

ご本人が納得して、ご利用できるようにお手伝いします。

かりん もり
デイサービス 花梨の森 ☎ 011-893-8960



みんなでつながり 優しいまちへ

～先達たちと共に25年間の地域づくり～ そして次世代



昨年の編集後記に総務部長中井氏が「本当に住みやすい街大賞 in 北海道」に「新さっぽろ駅周辺」が第1位に選ばれた事と、青葉町は住んで1番良かった地区です…自信と誇りをもって暮らしましょうと青葉町愛で記されていました。

私も青葉町に今から40年位前（昭和59年）に3世代6人で移り住みました。青葉町は自然豊かでイメージどおりでした。当時は青葉中学校が開校して3年目で札幌でもマンモス校のほうだったと記憶しています。原始林を切り開き造成してできた地区でしたので、自治会の先達たちもまちづくりに励みコンパクトでしたが、銀行、レストラン、病院、スーパーマーケットがあり子供たちの声も響く賑やかな街並みでした。

ところが、それから15年後（平成11年）、突然、町が変わったことに気が付きました。賑やかな街並みが変わり子供たちの姿もちらほらで、高齢者が目立つようになっていました。当時 私は50歳で子育ても終わり少しだけなら地域でボランティア活動をしようと考えていた時期で地域に何が起きているのか調べることから始めました。

青葉町は、札幌市でも高齢者が多く多い地区となっていました。この町が大好きで終の棲家と決めていましたので、このままでは愛する家族と安心して暮らし続ける事が出来ないと考え、「自分たちの地域は自分たち手で」と平成12年にNPO法人を立ち上げています。

その3年後の平成15年には、青葉地区自治連合会が主催で、現在の青葉町のまちづくりの基盤「各種72団体交流会」が開催され、保育園、幼稚園、小学校、中学校、民生委員、青葉地区社会福祉協議会、バトミントン、詩吟等多様な72団体が3ヶ月毎に青葉会館に集まり、情報を共有し、お互いに理解し合い、困ったことが起きたとき協力し合うという目的で、相互支援の仕組みづくりが始まりました。併せて札幌市の推奨で「まちづくり会議」も開催され、紆余曲折しながらも札幌でもっとも高齢化率の高い青葉町は、10年20年後を見据え住民主体でより安心して暮らせる地域づくり（セーフティネット）を構築してきました。私どもNPO法人も一役を担い皆さんと共に今があります。

現在、全国の高齢化率は29%、札幌市の高齢化率も28.5%となっています。厚生労働省は2015年（平成27年）から2025年（令和7年）の10年間で全国の1718市町村に「地域包括ケアのあるまち」、医療・介護・保健福祉が連携し、みんなでつながり支え合い助け合いのある地域を創り、高齢になっても安心して暮らしましょうと介護保険の改正をしました。目的は10年後の2035年問題で団塊の世代が85歳となり、85歳以上が1000万人に膨らみ、介護人材不足と財源の確保に対応する為の介護保険の改正が2年後に予定されています。

でも大丈夫です。私たちの青葉町はラッキーなことに20年前に既に迎えており、みんなで地道につながり「安心して暮らせる青葉町」を目指してきた結果「やさしいまち青葉町」と他の地区からの評価につながっています。

小学校が統廃合されましたか、令和5年10月青葉町の高齢化率は23年ぶりに0.7%下がり45.7%となり、人口も250人（内子供30人）増えました。あおば未来会（青葉まちづくり会議改名）のビジョンの中にもありますが、「子育て中の親が住みやすいまち」は受け入れられてきつつあります。

終わりに、みんなが安心して暮らせる青葉町を目指し、先達たちと共につながり50歳から25年間まちづくりを担ってきましたが、地域は常に変動しています。みんなで次の世代へゆだねながら2035年に向かいたいと願うこの頃です。



厚別区生活支援体制整備協議体アドバイザー

NPO法人理事長・助け合い団体代表

澤出 桃姫子



功労者表彰のご報告 ~より一層のご活躍を~

令和5年中に、青葉地区で各分野における功績について表彰を受けた方をご紹介いたします。
受賞者の皆様、おめでとうございます！

交通安全功労者 知事感謝状

ながさか じょううじ
永坂 譲二 様(青葉町B団地自治会友和会)

令和5年9月吉日 表彰

交通安全指導員、交通安全実践会会长など、永年にわたり交通安全運動の推進に積極的に取組み、交通事故防止に大きく貢献されています。



札幌市交通安全運動推進委員会 会長表彰

かわむら けいこ
川村 敬子 様(青葉町B団地自治会友和会)

令和5年10月吉日 表彰

多年にわたり交通安全運動の推進に尽力され、また、交通安全指導員として日々見守りに従事されるなど、交通安全に大きく貢献されています。



クリーンさっぽろ活動 市長表彰 実践模範地区

青葉町B団地自治会友和会 様

令和5年11月吉日 表彰

永年にわたり、クリーンさっぽろ活動を積極的に実践し、地区的環境美化、ごみの減量・リサイクルの推進に努められ、顕著な功績を挙げられています。



編集後記

総務部長 中井 繁

10月末に青葉会館と青葉児童会館で「いきいき健康・介護予防フェア」がありました。

スタッフの一人として参加しましたが、暇を見て私も計器による体力測定をしたところ、自分が思っている以上に体力や運動力が無くなっていることを実感しました。

皆様も年1回行われる健康・介護予防フェアに参加して、自身の年齢に合った血管かどうかや、骨密度・体力・運動力を調べて見ることをお勧めします。

会員皆様方におかれましては、コロナが下火になったと思ったらインフルエンザの感染が増えている今日この頃、お身体には充分気を付けられお過ごし下さい。

又、今回も多忙な中、寄稿して頂いた方々、そして広告協賛企業様及び編集に携わった青葉まちづくりセンターの皆様、有り難うございました。

自画自賛ですが、今回も情報量一杯の楽しい紙面になりました。